

# 1 Prologue

この闘病記は、私の妻が体の不調を訴えてから死に至るまでの経過を、看病した夫の立場から記録したものである。このような記録を公開するに至ったのは、亡き妻が「同じような経過を辿って死に致る人を少しでも減らしたいので、死後にぜひ公開して欲しい。」と願った故である。

癌は依然として死因の第一位を占めている。その中には年を取られて、手の尽くしようがない方もいるが、多くの癌はその危険性を知ることにより、罹患を避けたり、完治とは言わないまでも大幅な延命効果が期待できる場合がある。

私は医学関係の人間ではないが、工学関係の人間として非論理が押し通される場合がある医療の現場を見て「患者や患者の家族が癌という病をよく理解しなくてはならない。」という念を強くした。

残念ながら私の妻は、私がこのような基本的な知識を欠いたため救ってやることができなかったが、この闘病記が現在健康であると自認している人や癌かもしれないという心当たりがある人、癌であることが判明した人のお役に立てば幸いである。

この項終了  
©2003 Dr.YIKAI